



昨年の当院供養盆踊り

NUKUMORI
No.24

2011.7.25.発行

ぬくもり

CONTENTS

災害拠点病院について	2
創立30周年をふりかえって	3
部署だより	3
薬局より	3
ドクターのお話	4
看護週間	5
大分県緩和ケア研究会県北支部会	5
ベッドサイドで検査結果の確認	6
レシピひと工夫	6
新入職員紹介	7
行事のお知らせ	7
地域医療支援病院承認	7
外来担当医師一覧表	8

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践



基本方針

- 一. 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一. 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一. 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一. 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

宇佐高田医師会病院

肌のぬくもりある医療

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



私達は笑顔を大切にします

災害拠点病院について

災害拠点病院とは、地震・津波・台風等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院のことです。当院は大分県北の災害拠点病院に指定されています。



救急車両



自家発電機



エアートント

■ 指定要件（施設運用面）

- ①24時間緊急対応が可能で、災害発生時には傷病者の受入れおよび搬出ができる体制であること
- ②災害発生時には、被災地からの傷病者受入れ拠点にもなること
- ③被災地の災害拠点病院と被災地外の災害拠点病院とのヘリコプターによる傷病者や医療物資等のピストン輸送を行えること
- ④災害発生時における消防機関と連携した医療救護班の派遣体制が整備されていること
- ⑤ヘリコプター搬送の際には、同乗する医師を派遣できること

■ 指定要件（設備）

- ①災害時における患者の多数発生時に対応可能なスペースや簡易ベッド等の備蓄スペースを有すること
- ②施設は耐震構造であること
- ③飲料水や電気等のライフラインが断たれても施設の維持が可能なこと(大分県では2～3日間となっています)
- ④広域災害・救急医療情報システムの導入
- ⑤携行式の応急用医療資器材、応急用医薬品、テント、食料等の整備、またヘリポートや派遣用緊急車両等の整備



貯水槽



簡易ベッド



非常食

■ 県内の災害拠点病院一覧

・東部2次医療圏（別府、杵築、国東、姫島、日出）	新別府病院・国東市民病院
・中部2次医療圏（大分、臼杵、津久見、由布）	大分県立病院・医師会立アルメイダ病院・大分赤十字病院・臼杵コスモス病院
・南部2次医療圏（佐伯）	健康保険南海病院
・豊肥2次医療圏（竹田、豊後大野）	竹田医師会病院・豊後大野市民病院
・西部2次医療圏（日田、九重、玖珠）	済生会日田病院
・北部2次医療圏（中津、宇佐、豊後高田）	中津市民病院・宇佐高田医師会病院

現在、県内では上記12の病院が災害拠点病院として指定されています。このうち大分県立病院は基幹災害医療センターとして大分県における災害医療の中心的な役割を果たし、他の11の病院は各二次医療圏に配置され地域災害医療センターとして各医療圏における中心的な役割を担っています。

総務課 天田 清士

創立30周年をふりかえって

受付の様子



(S62年当時)



(現在)

外来待合室の様子



(開院当時)



(現在)

部署だより②

3階病棟

3階病棟は感染病床を含む56床、消化器外科・内科中心の混合病棟で、スタッフは看護師34名（パート含む）、看護助手5名の計39名です。

近年、高齢者の手術や内視鏡検査・治療を受ける患者様が増え、在院日数の短縮、救急患者の増加、医療技術の進歩などにより看護師に求められることも多く、慌ただしく感じられる毎日です。その中でも、患者様の立場に立った患者様中心の看護を目指して日々努力しています。



3階病棟看護師長
辻 珠美

私事ですが、本年5月より新米看護師長として明るく生き生き働きがいのある病棟を目指して、スタッフや患者様からの意見を大切に、情報共有していくよう心掛けています。なんでも話せる聞ける風通しの良い病棟でありたいと考えているので、お気づきの点がございましたら、よろしくお願ひ致します。

薬

シリーズ
薬局より

糖尿病のお薬

ディービービー フォー

DPP-4 阻害剤について

今回は、糖尿病のお薬について説明します。

現在日本国内では糖尿病を強く疑われる方が、約890万人にもものぼるといわれています。糖尿病の薬もいろいろな種類のお薬が出ていますが、その中で急速に使用量が増えているのがDPP-4阻害剤と言われる、インクレチンという物質を活性化させるお薬です。

インクレチンは消化管から分泌される、インスリン（血糖値を下げるホルモン）分泌を促すホルモンです。

食物が消化管に取り込まれると、インクレチンが小腸から分泌され、膵臓に作用しインスリンが分泌され血糖値を下げます。しかし、インクレチンは血中などに多くある酵素DPP-4によってすぐに分解されてしまいます。

DPP-4と言う酵素の働きを弱めればインクレチンの働きでインスリン分泌が強まり、血糖コン

トロールが容易になることに着目して作られたのがDPP-4阻害薬です。

インクレチンは、血糖値が高いときのみ作用するため低血糖を起こしにくいといわれています。また、胃からの食物排出を遅らせ、食欲が抑えられることにより、糖尿病のお薬によく見られる体重増加の副作用も、起こりにくいといわれています。

DPP-4阻害薬は、2006年8月にメキシコで発売されて以来、アメリカ、EU、アジア各国、80カ国以上でのべ1000万人以上の患者に使用されています。国内でも2009年12月に発売されて以来、数種類の薬が処方されるようになりました。発売からの期間が短いため、副作用が気になるところですが、主なものは便秘、低血糖が報告されています。いまのところ重篤な副作用は、報告されていません。 薬局課長 國東 秀次

大腸癌の検査・診断・治療について



外科部長 村上 光彦

●大腸癌の検査・診断

大腸癌は早期に発見できれば完全治癒の可能性が大きくなるがんです。集団健診では普通「便潜血反応」が行われます。潜血反応が陽性であった場合、採血検査で貧血などの異常がある場合、その他の大腸癌のハイリスクの場合は、癌をはじめとする大腸疾患の確定のため大腸内視鏡検査が行われます。

●大腸癌の治療

大腸癌の治療は基本的には切除による摘出ですが、進行度により様々な治療法を組み合わせ治療します。

①内視鏡的治療

主に大腸ポリープや早期大腸癌（リンパ節転移の可能性のないもの）に対して行われます。大腸カメラを使用し局所の切除を行うため開腹の必要がなく早期の退院が可能です。

②外科的治療

いわゆる手術による摘出です。癌の部分および周囲のリンパ節を含めて広範囲に摘出します。近年では腹腔鏡というカメラを使用し小さな傷で手術を行うことも可能となってきています。直腸癌の場合人

工肛門の造成が必要となる場合がありますが、近年では自動吻合器の進歩により、かなり肛門に近い場所でも腸管吻合が可能となってきています。

③化学療法

抗癌剤による治療です。術後に再発の恐れの高い場合、もしくは再発した場合、手術での摘出が困難な場合に使用されます。大腸癌は固形癌の中では比較的抗癌剤の効きやすい部類の癌であり近年様々な新しい薬が登場しています。切除不能の進行再発大腸癌では、化学療法を行わない場合生存期間中央値は8カ月と報告されていますが、最近の化学療法の進歩により約2年間程度まで延長してきました。

このように、近年の診断、治療の進歩は非常に目を見張るものがありますが、治療の基本は早期発見、早期治療につきると考えます。特に大腸癌の場合、大腸ポリープでいる期間が数年あるとの報告があり、この間に発見されれば内視鏡的に切除可能、癌にさえない時期での治療が可能です。

大腸癌を減らすには、生活習慣を改善するとともに定期的な検診、検査が重要です。この記事を読んで検診を受けてみようと思っただけであれば幸いです。

大腸がん検診状況						精密検査受診者の結果					
検診区分		一次検診受診者数	要精密判定者数	精密検査受診者数	精密検査受診率	異常なし	がんを認める	がんの疑い	がん以外の疾患		
									ポリープ	痔	その他
H21年	巡回	3,512	319	225	70.53%	39	10	0	79	56	41
	センター内	6,871	427	202	47.31%	36	3	0	82	41	40
H22年	巡回	3,636	291	225	77.32%	45	10	2	77	60	37
	センター内	6,940	407	215	52.83%	48	1	0	72	54	40

宇佐高田地域成人病検診センター資料より

(のべ件数)

外来化学療法受診状況					
点滴	H21年	内服	H21年		
			37		H21年
	H22年		H22年	65	
	34				

薬局資料より

外科手術件数				
	結腸切除	直腸切除	人工肛門造設	内視鏡的治療
H21年	18	8	6	93
H22年	20	9	4	98

医事統計資料より

看護週間 5月8日(日)～14日(土)

病院創立30周年・検診センター 創立20周年を記念した取り組み

1日看護体験

5月9日(月)



<大分合同新聞(5/11)記事より>



看護週間の行事
▽県北部保健所 宇佐市南宇佐の宇佐高田医師会病院で9日、市内の高校生が「ふれあい看護体験」をした。
宇佐、安心院、宇佐産業科学、柳ヶ浦各高校の2、3年生12人が

「看護の日」の記念品



2班に分かれ、患者の血圧測定や手浴、足浴、シーツ交換などをした。車椅子の患者と散歩したり、昼食は病院食を体験。清水真梨さん(宇佐高3年)は「看護の仕事に興味があって参加した。大変そうだけど楽しそうに話していた。市内では9日から13日まで、計7カ所の病院で高校生36人が看護体験をする。

体験した高校生の感想

- ナースキャップをつけた時はとてもワクワクしました。
- 看護師の大変さ、命を預かるということの責任の重さ、そして笑顔を見れたときの嬉しさを学びました。
- コミュニケーションをとることが下手でとまどいました。
- 患者さんは病気と闘っているので、私たちが患者さんたちを少しでも楽しくすることができればと思い、患者さんとのふれあいを頑張りました。
- 患者さん一人ひとりからもらう一言の言葉がとても嬉しかったです。
- この一日看護体験で患者さんとのふれあいや医療現場を体験することができ、更にいっそう看護師への思いが強くなりました。

担当看護師の感想

患者様に接する中で生まれるあんなこと、こんなこと、色々な気づかされる事が沢山あったと思います。また患者様から頂ける感謝の言葉に喜んでる姿がみられ、看護師の仕事の喜びの一端を感じてもらえたのではないのでしょうか。それは日常生活の中の人と人の関わりの中でも同じ事が言えるのではないかと思います。相手の立場になって、話しを聞き、共感し寄り添う気持ちがあれば「看護の心」になるのではないかと思います。その心を日常でも心がけてくれたら嬉しく思います。
今回このような機会を与您とさせていただきます協力頂いた患者様に感謝します。 4階病棟主任 福田美保子

健康相談

5月10日(火)～12日(木)



血圧、体脂肪測定

栄養相談

5月12日(木)



栄養課より記念餅配布

ミニコンサート

5月12日(木)



ヴァイオリン 三宅孝治さん ピアノ 山口芳弘さん

第10回 大分県緩和ケア研究会県北支部会

去る5月21日(土)、ウサノピア大ホールにて第10回大分県緩和ケア研究会県北支部会が開催されました。

当日は、当番世話人である当院 柏木院長の開会の挨拶に始まり、まず一般演題3題の発表が行われました。当院からも3階病棟 重久看護師が『当院の緩和ケアの現状』と題して発表しました。

また、特別講演として東京大学大学院教授 島菌進先生に『死生学と緩和ケア』、リレーフォーライフ大分実行委員長 平野登志雄先生に『心をつなぐ笑顔のリレー』と題してご講演いただきました。共にとても興味のある内容で会場内からも多くの質問が出されました。がんサイバパー(がんと闘っている方)の話では、がん

という現実を受け止めなければいけない心情の変化が伝わり重みのある発表でした。当院も2009年より「UTIHP」というチーム名でリレーフォーライフ大分に参加しています。がん征圧への願いと地域社会との連帯を育む為にも多くの方々に参加して頂きたいと思います。

次回は中津胃腸病院が当番世話人となります。より多くの方々に参加して頂き、この大分県緩和ケア研究会県北支部会が益々発展していくことを願っております。

緩和ケア委員会 外来看護師 岩淵 昌美



ベッドサイドで心臓カテーテル検査の結果を見ることが可能になりました！



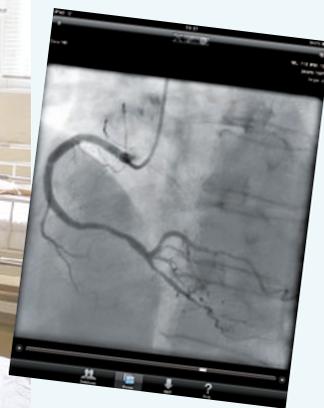
循環器科部長
陣林 伯男

当院では以前より心臓カテーテル検査及び治療を行っております。検査後、術直後には別室で本人、家族共に画像を供覧しながら説明を致しますが、急性心筋梗塞でベッド上安静が必要な患者や高齢でADLの低下した患者、点滴類が多い患者などでは移動が困難で家族のみの説明となる事があります。しかし理解力の高い若い患者さんでは是非自分の心臓を見たい、治療の結果を見たいとの希望を持っておられます。確かに結果を見れば更に安心感も得られ、

病状にも良いのではと思っておりました。

今はやりのiPadなどのタブレットパソコンを用いてカテーテル検査、CTなど画像検査について手軽にベッドサイドで説明できないかIT担当者になにげなくリクエストしたところ、現在のように実用可能な形となりました。CTなどの静止画については拡大縮小も自由自在に操ることが出来、細部まで確認できます。動画については当初描出が不安定でありましたが、バージョンアップによって滑らかに描出できるようになりました。

今後コメディカルの領域でも薬剤、食餌指導などいろいろな面で活用ができるのではないかと期待しております。



しんぴ ひとエ夫

第2回

『圧力鍋を活用』

栄養課 日清医療食品㈱チーフ栄養士 渡辺 恵

不足しがちな食物繊維が取れ、便秘解消へ

歯や入れ歯の調子が悪いから…という理由で、最初から硬い食べ物を避けている、という人は少なくありません。

そんな方には、圧力鍋を使用し調理することで、硬いごぼうやレンコンなどの繊維がやわらかくなり、とても食べやすくなります。これにより、不足しがちな食物繊維が補え便秘の解消にも効果があります。

頭から丸ごとパクッとあゆの甘露煮

一見、手間がかかりそうですが、圧力鍋を使うことにより、簡単に骨まで食べられる甘露煮が出来上がります。

今回は、あゆの甘露煮の作り方を紹介します。

作り方

材料 (2人分) / あゆ2尾・濃口しょうゆ20g
はちみつ8g・さとう12g

- ① 圧力鍋にあゆを並べる
- ② 調味料を入れ、あゆがひたひたになるくらいの水を入れる
- ③ フタをして、蒸気がでてくるまで強火にかける (圧力を上げる)
- ④ 弱火で20分
- ⑤ 鍋を火から下ろし、20分待つ (圧力を下げる)
- ⑥ フタをとり火にかけ、照りがでたら出来上がり

※圧力鍋の使用方法は、鍋に付属の説明書をご覧ください。

圧力鍋とは、空気や液体が逃げないように密封した容器を加熱し、食材に圧力を加え短時間に調理できる鍋のことです。

形はそのまま!!

骨ごと食べられ、カルシウムも豊富



新入職員紹介

よろしくお願いいたします。

①入職日 ②所属 ③モットー（一言） ④趣味



いのうえ くみつ
井上 邦光
①H23・7・1
②消化器科部長
③今日一日
④読書・自転車



あかぼし りょう
赤星 亮
①H23・5・23
②診療放射線技師
③一生懸命頑張ります。
④野球



まつもと きくの
松本 菊乃
①H23・5・16
②管理栄養士
③いつも笑顔で！
④マンドリン演奏



おがた かよ
緒方 香代
①H23・5・18
②看護助手
③笑顔を大切に今自分にできることを精一杯頑張る。
④ドライブ



なかにし みき
中西 美紀
①H23・5・18
②看護助手
③いつも笑顔で頑張りたいと思います。
④買い物



さとう ともみ
佐藤 知美
①H23・6・16
②看護師
③笑顔と真心を忘れず頑張ります。
④読書・ガーデニング

行事のお知らせ

●供養盆踊り

日時：8月27日(土) 19:00～
(雨天の場合は8月28日(日)に順延)

場所：宇佐高田地域成人病
検診センター前駐車場

今年は病院創立30周年を迎え、地域の皆様にも多数ご参加いただけるよう企画しました。

恒例のカキ氷・綿菓子に加え、焼きそば、からあげ等の軽食コーナーやヨーヨーすくい、シャボン玉とばしなど遊びのコーナーも準備して皆様のご来場をお待ちしております。是非、ご家族お揃いでご来場下さいませようお願い申し上げます。 親睦会



当院は地域医療支援病院に承認されました。

平成23年5月1日付けで、地域医療支援病院の承認を得ることが出来ました。

地域医療支援病院とは、医療法第4条第1項に定められた要件を満たしたもので、医療機関の連携及び役割分担を図るため、紹介患者に対する医療提供、病院や医療機器の共同利用の実施、地域の医療従事者の研修等を通じ、かかりつけ医等を支援する機能を備えた病院です。この承認により「地域医療支援病院」の呼称の使用が可能となります。又、DPC係数が0.0327加算されます。

大分県では、平成23年7月1日現在、8病院がその承認を受けています。県北地域では唯一の地域医療支援病院です。今後も地域医療の充実のため、二次救急病院として救急医療の充実に努め、地域医療支援病院として恥じない病院で有りたいと思います。

参与 水野 公明



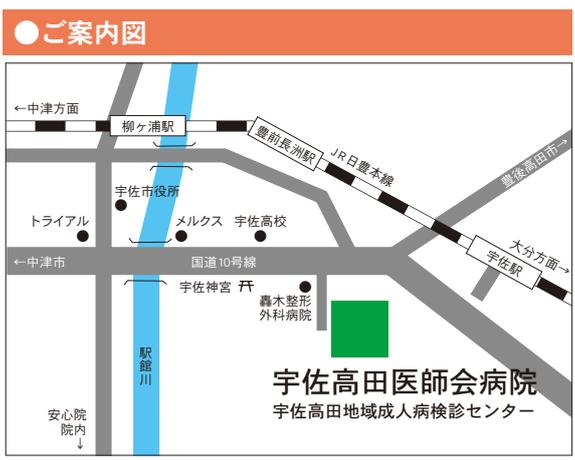
外来担当医師一覧表

時間帯	科別	月	火	水	木	金	土
午前	循環器	陣林 伯男	篠原 徹二	陣林 伯男 ペースメーカー	米持 英俊	陣林 伯男	—
	外科	蔵田 伸明	柏木 孝仁	村上 光彦	萱島 理	柏木 孝仁	—
	消化器	井上 邦光	中島 仁典	梶本 展明	中島 仁典	井上 邦光	中島 仁典 (再来)
	内視鏡	梶本 展明	井上 邦光	井上 邦光	梶本 展明	梶本 展明	—
	呼吸器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午後	循環器	—	—	—	近藤 克洋 心カテ検査	—	—
	呼吸器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	腎臓内科	—	—	—	—	有馬 誠 第1・第3	—
	血液内科	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

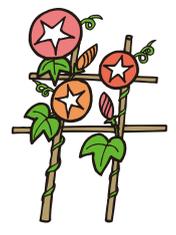
氏名	専門領域
陣林 伯男	循環器科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
米持 英俊(非常勤)	循環器 内科一般
井上 邦光	消化器 肝臓病 内科一般
梶本 展明	消化器 肝臓病 内科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般
有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般

氏名	専門領域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
萱島 理	消化器外科 外科一般
三重野 斉	呼吸器科一般
黒田 芳信(非常勤)	呼吸器科一般

●診療時間 午前9:00～12:00
午後1:00～4:00(腎臓内科)
午後2:00～5:00(呼吸器・血液内科)



- (財)日本医療機能評価機構認定(Ver.5.0)
- 第2次救急指定医療機関・災害拠点病院(大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関(SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- 日本消化器病学会専門医研修関連施設
- 肝疾患診療協力医療機関
- マンモグラフィ画像認定施設
- NST稼働施設認定病院
- 地域医療支援病院



ぬくもり No.24 2011年7月25日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>
これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。

編集後記

表紙の写真は昨年の供養盆踊りの様子です。毎年、口説きや太鼓に踊りと伏田、南宇佐、日足地区の方々には大変お世話になっております。今年は職員も踊りの練習に励み、病院創立30周年の節目の年としてこれまで30年間の供養の気持ちを込めて、地域の皆様とともに踊らせていただきたいと思います。多数の皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。

広報委員